

建築主：S氏
 設計：一級建築士事務所ikmo
 施工：株式会社中野工務店
 所在地：市川市

～地形を再編集 街に開く層の家～

さうさうのいえ



擁壁形状に沿った階段状のライブラリー

「街角に陽だまりができた」周辺に住む人はそんな印象を抱いたのではないだろうか。この敷地は周辺に緑地や水辺が残る閑静な場所で、住宅地と緑地の間の斜面に位置している。3方を囲む老朽化した擁壁と地下駐車場を更新する必要があったため、設計者は道と地形と住宅の関係を再編集して「街へ開いた風景」と「住まい手の暮らしの提案」を巧みに計画した。新設された擁壁は傾斜に沿って階段状に高くなり周囲への圧迫感を低減した。地下駐車場だった場所は地下室となり、斜面下を切り取られた屋外交流スペースとなり見通し抜群である。上家は土留めとなるRC造壁を基礎とし、2階建の在来木造フレームを載せ施工性にも配慮した。内部空間は地下レベルから地盤に沿わせて半階ずつずれた6フロア構成となり、ひとつ上がるごとに住まい手の生活の様子が体感できる。外部との関係を作る窓の位置、家具や収納の高さ関係や配置などが緻密に計算されて無駄がない。4～5フロアのダイニングとリビングは段差を使いそれぞれが西側バルコニーにつながる。眺望の先

は緑地帯と空だ。障子で西陽の調整をしながら日々の情景の変化を楽しめる。欲を言えば外から上階の内部空間が見てとれないのが物足りなく感じる。

建築主は望んでこの土地を購入したとのことだったが、擁壁の暗いイメージから変貌した暮らしは想像以上だったのではないか。敷地周辺には空き家もあり、地域の住まいの更新を考える際の指針にもなる。この家の新しい擁壁と手摺は緑に覆われ、行き交う人の憩いのスペースとして存在感が増していくだろう。

(藤本 香)



西側外観



緑を望む開口でつながる
 ダイニングとリビング
 (撮影全て:西川公朗)